

保護者の歯の健康行動が 子どものむし歯を予防する

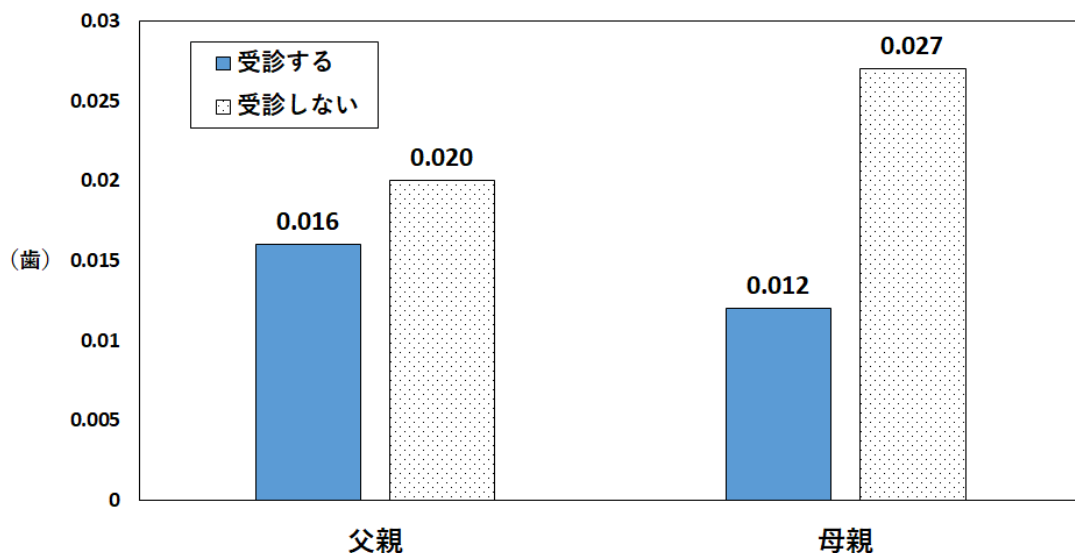
北海道室蘭保健所では、長年、西胆振地域の幼児の生活習慣と歯の健康との関連性を調査しております。

令和3～4年度の調査では、定期的な歯科健診を受診している保護者の子どもは、受診していない保護者の子どもに比べて、むし歯が少ないという結果が出ました（1歳6か月児1,679人および3歳児1,787人を分析）。

これは、保護者が歯の健康を保つための行動を取るにより、お子さんの歯の健康にも意識を持つようになったことが考えられます。

年に1度、歯科医院を受診し、ご自身の歯の健康とともに、ご家族の歯の健康を考える機会にしてみましょう！

保護者の定期的な歯科健診の受診の有無別の
子ども（1歳6か月児）の一人平均う歯数



<出典> 令和3～4年度西胆振地域1歳6か月児健康診査歯科アンケート集計結果報告書：北海道室蘭保健所

令和3～4年度西胆振地域3歳児健康診査歯科アンケート集計結果報告書：北海道室蘭保健所